

地球と人にやさしい暮らし

# 水となかよく暮らす

安全で快適な暮らしに、衛生設備はなくてはならないものです。

その恩恵を享受するとともに、地球にやさしい暮らしをもう一度考える必要があります。

また同時に、すべての人にやさしく、安心して暮らせるような工夫を考えていきます。

## ■節水は…

節水は水資源の保護と同時に、人が飲めるきれいな水を造り、家庭に送り、排水を浄化して海に流すために使っている大量のエネルギーを削減できます。

## ■すまいでは…

お湯の節約を行うことにより、水を加熱するためのエネルギーも削減できます。すまいのエネルギー消費の内、給湯で約3割が消費されていると言われています。

また、お風呂に入ると水の消費と湯の加熱分で、1人・1回=約1kgのCO<sub>2</sub>が排出されるという試算※もあります。家庭でのCO<sub>2</sub>削減目標として、1人1日1kgの削減が政府から示されていますが、これに匹敵する取り組みが必要になります。

(※日建設計総合研究所資料)

## ■人にやさしく…

地球にやさしくすると同時に、老人・子供・身体障害者など、みんなにやさしいまちづくりが進められています。ユニバーサルデザインという考え方で、「単純・判り易い・安全・誰でも…」などがキーワードとなります。

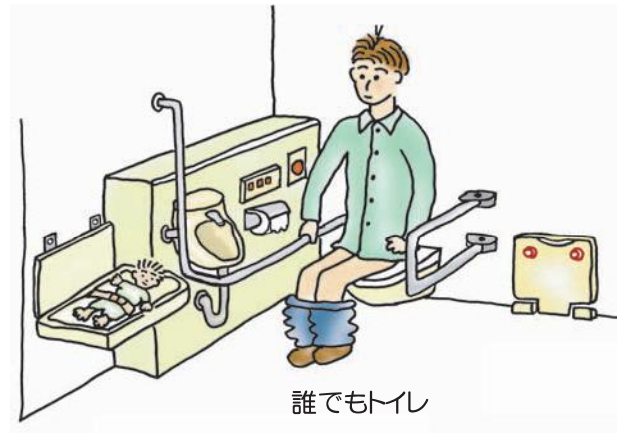
一例として、駅や公共施設に設置されている「誰でもトイレ（多機能トイレ）」がありますが、暮らしに関係が深い衛生設備の分野で、今後、積極的に取り組んでいかなければならない課題です。



自動水栓



節水型シャワー



誰でもトイレ

## ■レジオネラ属菌とは？

水となかよく暮らすために、知っておかなければならないこととして、レジオネラ属菌の問題があります。

レジオネラ属菌は、中央式の貯湯槽や冷却塔などで繁殖しやすい細菌のなかまで、死亡率の高い肺炎などの原因となります。

レジオネラ属菌は空気中の微小な水滴に混じって飛散して感染することが多く、高齢者や慢性の呼吸器疾患の人、他の病気で免疫機能の低下した人などが発症し易くなっています。

低温のお湯で繁殖するため、貯湯式の給湯システムでは60℃以上の加温が必要です。また、冷却塔では、薬剤による水質管理を行えば安心です。

60℃以上の加温で殺菌

薬剤で殺菌



長時間溜まっていたため湯貯湯式の給湯システムに注意

管理の悪い冷却塔の飛散水に注意

レジオネラ属菌に注意